

## 公園の話をしよう

金岡地区の豊町に通称「なかよし公園」と呼ばれる、開放感に溢れた公園があります。正式名称「豊町公園」には、中央に芝生が広がり、すべり台やブランコ、鉄棒などオーソドックスな遊具が並びます。そして防災倉庫などいくつかの倉庫が置かれており、駐車場を持たないこの公園は、私たちにとって、どこか懐かしさや安心感を覚える「近所の公園」と言っても過言ではないでしょう。

沼津市がパークマネジメントプランを策定するにあたり、公園を利用する豊町の人たちに話を聞いてみようというワークショップを開催したところ、年輩の人たちを中心に「近所の子どもたちはこの公園でいろいろなことをして育った」「お祭りが楽しみではない」と口を揃えました。

話が盛り上がるに連れ「公園の花壇で野菜を育ててみたら面白い」「周囲の生け垣をもうちょっと低くしたら開放感が増すのでは」と、豊町公園をもっとよくなしたいとの意見もみられました。

## かけがえない当たり前

豊町公園では地域の人たちの手によって毎日公園のトイレ清掃が行われて

# 豊町にみる 幸せな公園。

公園の数、それ以上に  
愛され方があっていい。

豊町在住  
原正彦さんの  
公園自慢！

みんなで手入れする  
美しい芝生

豊町在住  
堀江昌佳さんの  
公園自慢！

ぴっぴかの  
トイレ

緑地公園課  
重田主任の  
公園自慢！  
公園を愛する  
沼津の皆さん

豊町在住  
井上智づるさんの  
公園自慢！  
子どもと楽しむ  
公園の花壇

います。「そういうものだと思っていましたからね。手間であることは間違いありませんが、多くの人が協力してくれているんです。豊町の公園だから、豊町に住む人たちでなんとかできることはやらないとね」と笑う自治会長をはじめ、多くの人が「私たちの公園だからキレイにするのは私たち」と話してくれました。

この美しい公園が「なかよし公園」という愛称を持つのは、豊町の皆さんの「自分たちの場所だから、できることは自分たちでやっていきたい」という想いに理由があるのかもしれない。

## パークマネジメントで支える未来

豊町の皆さんに限らず、市内には花壇の手入れや公園の点検などを行う「公園愛護会」が72あります。また、自主的に清掃活動を行うなど、様々な人たちが公園に関わりを持っていきます。規模の大小を問わず、このようなかけがえない活動にも「自分たちの公園は自分たちで」という意識が込められていることは想像に難くありません。

沼津市パークマネジメントプランでは、清掃や除草などの「維持管理」と、お祭りやイベントの開催などの「運営管理」を主な取り組みと捉え、皆さんの公園愛護を応援し、様々な支援体制を整えていきます。

「楽しく使いこなせる公園緑地」「みんなの舞台となる公園緑地」の実現を目指し、市民の皆さんの想いに応える

## 公園は、みんなのもの

自分たちの場所だから、自分たちでやる。自宅や職場、学校に加えて、公園も自分の「居場所」として愛していく。このような考えがあれば「近所の公園」が将来に渡って気持ちの良い場所としてあり続けられるはずです。

よく耳にするフレーズに「公園はみんなのもの」という言葉がありますが、利用するだけでなく、公園の未来を考えていくことも「みんな」でやる時代になったと言えます。

みなさんも「近所の公園」に、改めて足を運んで下さい。そして、その個性を今一度確認してみましょう。どんな魅力があるのか、気になる点はないか、ひとつでも気がついたら、家族や地域の人、仲間と話し合ってみて下さい。きっと「みんなの公園」がもっと楽しくなるヒントが見つかることでしょう。

## 沼津市パークマネジメントプランをダウンロード

もっと公園のことを考えてみようと思ったら、ぜひ市が策定したパークマネジメントプランをご覧ください。皆さんの公園の愛し方のヒントになるでしょう。市公式ホームページからご覧いただけます。



広報めまづ 秋